

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

## 経営の基本方針

日本人の視点に立った細やかなジャパンスターダートのアシスタンスで、世界のお客様へ真に求められるサービスを提供。

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 生成AIによる業務改革

生成AI等の導入によるDX化を推進し、少人数でもより多くの業務を受ける体制整備。ライフアシスタンス事業から医療アシスタンス事業へ段階的拡充。

## 2. インバウンド事業の拡大

医療ツーリズムの高度医療・専門治療コーディネート強化。健康志向の富裕層向けにウェルネスサービス拡充。訪日外国人向け医療アシスタンス事業の積極展開。

## 3. 顧客基盤拡大の積極展開

海外旅行保険付帯医療アシスタンスの推移堅調見込み。法人向けサービス、留学生危機管理、セキュリティアシスタンスなど各事業で新規営業を展開。

## 4. 事業ポートフォリオの最適化

採算性改善見込めない事業の統合・縮小・撤退含めた抜本的見直し。顧客ニーズに基づいた商品ラインナップ拡充。

## ③ 対処すべき課題

## ① 中長期的な企業価値向上

- ・資本収益性を意識した経営資源の適切配分で持続的成長を実現
- ・ROE向上によるキャッシュ・フロー経営重視

## ② 情報セキュリティ対応

- ・委託先から求められる高度な情報セキュリティ要件への設備投資
- ・情報システム関連基本インフラ等への資本投下で差別化を武器に新規受注拡大

## ③ 人材戦略と働き方改革

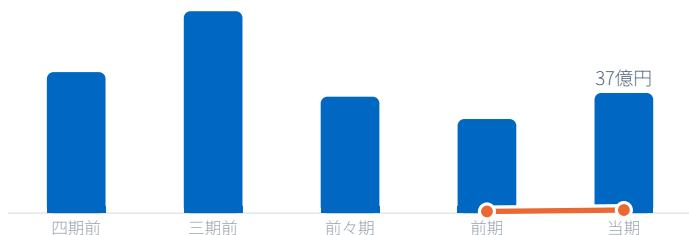
- ・人事評価制度の見直しと人材育成施策推進
- ・業績連動型報酬導入による従業員エンゲージメント向上

## 面接で使えるポイント

- ・24時間運用のオペレーション体制で培った経験値と生成AIの融合で次世代型エマージェンシーアシスタンスを実現。
- ・EAJ Next Vision中期経営計画2025-2027の2年度目で…
- ・インバウンド医療ツーリズムの高度医療コーディネートと海外損害保険会社開拓で持続的成長を目指す。

証券コード 6063

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
37億円

営業利益率  
2.6%

財務健康度  
33点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 38.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
517万円

サービス業内 370位/524社

平均年齢  
44.0歳

サービス業内 89位/527社

平均勤続  
8.3年

サービス業内 195位/527社

女性管理職  
56.5%

サービス業内 14位/371社

男性育休  
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

